(カ)その他の楽器

Vо	楽器イラスト	楽器の知識や奏法	どんな音色?
52	ウィンドチャイム (wind chime / 英)	ツリー・チャイム、バー・チャイム等ともいう。細長い金属の棒を段々長くなるようにナイロン製の紐で吊り下げたもので、端から端までをビーターや指で滑らせて音を鳴らす。後ろに付いているフェルト部分を金属に触れるように傾けると音が止まる。ほんの少し触れただけで、揺れて音がなり、なかなか音が止まらないため、演奏会等で使う時はぶつからないように気を付ける必要がある。	
53	ヴィブラスラップ (vibraslap /英)	元々は馬やロバの下顎の骨を乾燥させて作ったキハーダというキューバの楽器の音を模して造られた。ヴィブラスラップという名前はLP社の商品名。小さな木箱の中に金属片が入っており、金属製の U 字の柄の長い方を持ち、球状の重りを叩いたり弾いたりして木箱にぶつけると面白い音がする。アニメや時代劇の効果音や演歌などで使われる。	
54	スライドホイッスル (slide whistle / 英)	注射器の針部分に吹き口が付いたような形状。息を吹き込みながら付属しているスライドを動かして音程を変える。グリッサンドさせながら演奏したり、細かく震わせながら音を高くすると幽霊登場シーン等の効果音ともなる。	
55	フィンガーシンバル (finger cyumbal /英)	直径 6.35 cm程と小さい。その名の通り指サイズのシンバル。 親指と中指に紐を通し、カスタネットのように打ち合わせて 音を鳴らす。古代から存在しており、現在もベリーダンス等 に用いられる。	
6	エナジーチャイム (energy chime /英)	金属の棒を糸で吊り、宙に浮かせて撥で叩いて音を鳴らす。響きがとても長く、澄んだ美しい音がなる。ヨガや瞑想などのリラクゼーション、音楽療法などで用いられる。	
7	ドレミパイプ(ブームワッカー) (boomwhackers /英)	アメリカ生まれの知育楽器。ドレミの音程に調律されたプラスティック製のパイプ。軽くて柔らかいため、小さな子やお年寄りでも簡単に楽しく使うことができる。パイプを手に持ち、膝や太もも、机や床を叩いて音を鳴らす。また、マレットで叩いて音を鳴らすこともできる。グループで演奏することで協調性が養われる。オクタベータという黒い蓋を装着すると 1 オクターブ低い音にすることができる。	
58	フレクサトーン (flexatone / 英)	アニメ等の効果音として使われることがあるため、楽器を見たことも名前も知らなくても、音は聴いたことがあるという人が多いだろう。金属板の両側に小さな玉が付いており、振って音を鳴らす。振りながら金属板に指で圧を掛けると音程が変わる。	

(カ)その他の楽器

lo	楽器イラスト	楽器の知識や奏法	どんな音色?
59	サイレンホイッスル (siren whistle /英)	アニメの効果音等に使われる擬音笛で、息を吹き込むと中のファンが回ってサイレンのような音が鳴る。息の入れるスピードで音の鳴り方が違い、ゆっくり息を吹き込むと低めの音程、息のスピードを上げると音程が高くなっていく。	
60	ティンシャ (ティンツー) (tingsha)	チベット・ネパールの高僧がマントラを歌いあげながら奏でる法具の1つ。皮紐の部分を持ち、2つを軽く当てると「リーン…」と長い余韻が心地よく続く。最近はヨガや瞑想、ヒーリング等でも使われる。	
61	スプリングドラム (spring drum /英)	片面太鼓状の細長い筒の鼓面側に長いスプリングが付いており、スプリングを下にして振ると「ゴー」という風のような音がなり、さらに揺れているスプリングを机などにぶつけると雷のような音が鳴る。風・雷の効果音としても使われる。	
62	レインスティック (rainstick /英)	乾燥させた筒状のサボテンの中にたくさんの小石等を入れたもの。サボテンの内側にはたくさんのトゲがあるため、揺らすと粒がトゲに当たり、雨のような音が鳴る。50~1 mと大きさはさまざま。アフリカが起源といわれているが、後に中南米へ渡り、雨乞いの儀式等にも使われた。	
63	オーシャンドラム (ocean drum /英)	両面張りのフレームドラムの中に豆や砂金属等の小さなビーズを入れたもの。傾けると中の豆等が転がり、波のような音を鳴らすことができる。また、フレームドラムのように手や指で叩いて音を鳴らすこともある。	
64	タンドラム (tongue drum /英)	1つひとつのキーの形状が舌(タン)に似ていることからタングドラムと呼ばれる体鳴楽器。マレットや指でキーを叩いて音を鳴らす。スリットドラムとも呼ばれる。ヨガや瞑想、サウンドセラピー等で用いられる。	
65	トーンタング (tone tongue /英)	大きさの違う8枚の木の板を、台を囲むように取り付けられ、 先に丸い木の付いたマレットでグルグル回して音を鳴らす。 音楽療法や特別支援教育等で用いられることもある。オクタ チャイムとも呼ばれる。	